

学生便覧
2026年度

健康科学部
看護学科

B2026-9-1

目次

I	教育研究上の目的	3
II	学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	3
III	教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	3
III	授業科目について	4
IV	授業科目の単位と認定	4
V	卒業に必要な単位について	4
VI	看護師国家試験受験資格について	4
VII	進級基準等	5
	1. 進級基準	5
	2. 履修登録上限	5
VIII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	6
	1. 全学部共通基盤科目群	6
	2. 外国語科目群	9
	3. キャリア形成科目群	9
	4. 専門基礎科目群	10
	5. 専門科目群	11
IX	履修モデル	14
	1. 看護師課程	14
	2. 保健師課程	15
	3. 保健師課程（保健師＋養護教諭2種）	16
	4. 助産師課程	17

履修の手引と手続き

I 教育研究上の目的

看護学部は、人々の健康増進を目指した教育研究を通じて、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人間性豊かで多文化を理解し、くすりや福祉に明るく、探求心と倫理性を兼ね備えた看護職者を養成する。

II 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

健康科学部看護学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護について基盤となる知識を身に付け、活用することができる。
2. グローバルな視点で、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解するために教養と寛容さを身に付け、行動することができる。
3. 安心・安全・安楽な看護技術を身に付け、実践することができる。
4. 看護専門職として必要なコミュニケーション能力を身につけ、活用することができる。
5. あらゆる場でチームの一員として、連携・協働し、看護を実践することができる。
6. 地域で暮らす人々の健康を支援するための情報を収集・分析・統合することができる。
7. 看護に必要な倫理観、人の生命や人としての尊厳と権利を尊重する態度を身につけ、行動することができる。
8. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向け、人々の健康問題解決に向けて考え行動することができる。
9. 看護専門職として生涯にわたり研鑽し続けることができる。

III 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

健康科学部看護学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、国際的視野をもって常に変化する社会情勢や多様な対象のニーズに対応できる知識・技能を身に付け、地域に貢献できる看護職者を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 看護学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル化による社会のニーズに応え、多様な対象を理解し尊重するため、外国語科目群を設置する。
3. 専門職の役割を考えながら能動的に学修し、キャリア形成の基盤を身に付けるため、キャリア形成科目群を設置する。
4. 保健・医療・福祉の知識・技能と連携、情報の活用について学び、協働して課題を解決する力を身に付けるため、専門基礎科目群Ⅰを設置する。
5. 専門職の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、人及び人をとりまく環境について学ぶ専門基礎科目群Ⅱを設置する。
6. 看護の基礎を学び、看護実践力の基盤となる知識・技術・態度を身に付けるため、専門科目群Ⅰを設置する。
7. ライフステージ、健康レベルの違いに対応した看護実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅱを設置する。
8. 医療施設以外の場で求められる看護について体系的に学ぶため、専門科目群Ⅲを設置する。
9. 多様化、複雑化した状況下にある看護並びに看護職者の倫理や役割の理解を深めるため、専門科目群Ⅳを設置する。
10. 専門的な国家試験受験資格、免許を取得するため、保健師課程、助産師課程、教職（養護教諭一種）課程に必要な科目からなる専門科目群Ⅴを設置する。

11. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせて実践力を養うことを目的とする「演習」、実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門基礎科目群・専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整やICTを活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

III 授業科目について

健康科学部看護学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、外国語科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群Ⅰ・Ⅱ、専門科目群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴから構成されている。

IV 授業科目の単位と認定

本学部では単位制を採用している。単位制とは、ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験もしくはその他の方法により学習評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位の認定は、S・A・B・Cの4段階の評価により行いFの評価は単位を認定しないものとする。なお、N・Hは、単位振替により単位を認定したことを示す。

V 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は、以下の表に示すとおりである。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には含まない。

科目群等	学 科	看護学科
		単位数
全学部共通基盤科目群		3
キャリア形成科目群		1
専門基礎科目群Ⅰ		11
専門基礎科目群Ⅱ		21
専門科目群Ⅰ（基礎看護学）		15
専門科目群Ⅱ（専門看護学）		37
専門科目群Ⅲ（広域看護学）		13
専門科目群Ⅳ（統合看護学）		5
指定された各科目群より修得した科目以外に、全学部共通基盤科目群より選択必修		3
指定された各科目群より修得した科目以外に、外国語科目群より選択必修		6
指定された各科目群より修得した科目以外に、キャリア形成科目群より選択必修		1
指定された各科目群より修得した科目以外に、専門基礎科目群Ⅰ・同Ⅱより選択必修		4
指定された各科目群より修得した科目以外に、専門科目群Ⅲ・同Ⅳより選択必修		2
指定された各科目群より修得した科目以外に、専門科目群Ⅳより選択必修		2
計		124

VI 看護師国家試験受験資格について

本学部は、文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、文部科学大臣の指定した学校教育法に基づく大学として認可を受けている。本学部の所定の単位を修得し、卒業することにより、看護師国家試験受験資格を得る。

VII 進級基準等

1. 進級基準

各年次への進級にあたっては、以下の表に示す必修科目（キャリア形成科目群、専門基礎科目群Ⅰ・Ⅱ、及び専門科目群Ⅰ～Ⅳ）の単位を修得しなければならない。

未修得必修科目数が2科目以下の場合には進級を認めることがある。ただし、2年次から3年次への進級にあたって「基礎看護学実習 B」の単位が未修得である場合は、未修得必修科目数にかかわらず進級を認めない。

なお、未修得必修科目数とは、1年次から在籍年次までの開講科目における未修得必修科目数を加算したものをいう。

1年→2年		2年→3年		3年→4年	
科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
プロジェクト教育 A	1	ライフステージ IPE A	1	保健医療統計学	2
科学基礎	1	ライフステージ IPE B	1	クリティカルケア方法論演習	1
看護情報学	1	疾病治療学 A	2	クリティカルケア実習	3
社会福祉原論	2	疾病治療学 B	2	慢性疾患看護方法論演習	1
人間関係論	2	疫学	2	慢性疾患看護実習	3
人体の構造機能 A	2	周産期医学 A	1	老年看護方法論演習	1
人体の構造機能 B	2	感染症学	1	老年看護学実習	2
臨床栄養学	2	臨床薬理学	2	母性看護方法論演習	1
病原微生物学	2	薬学系演習	1	母性看護学実習	2
臨床生化学	2	臨床薬物動態論	1	小児看護方法論演習	1
看護学概論	1	看護方法論 A	2	小児看護学実習	2
看護方法論演習 A	1	看護方法論 B	1	精神看護方法論演習	1
看護方法論演習 B	2	看護方法論演習 C	2	精神看護学実習	2
基礎看護学実習 A	1	看護方法論演習 D	1	地域・在宅看護方法論演習	1
サービスラーニング	1	基礎看護学実習 B	2	地域・在宅看護実習	2
成人・老年看護学概論	1	クリティカルケア方法論	2	地域包括ケア実習	1
精神看護学概論	1	慢性疾患看護方法論	2	感染看護	1
地域・在宅看護概論	1	老年看護方法論	2	終末期看護論	2
		母子看護学概論	2	医療倫理学	2
		母性看護方法論	2	看護研究方法論	1
		小児看護方法論	2		
		精神看護方法論	2		
		地域・在宅看護方法論	2		
		公衆衛生看護学概論	2		
<科目数 18 科目>		<科目数 24 科目>		<科目数 20 科目>	
合計	27	合計	40	合計	32

2. 履修登録上限

各年次における履修登録の上限は、1年次 49 単位、2年次 49 単位、3年次 49 単位、4年次 42 単位までとする。

ただし、各クォーター（S1, S2, F1, F2）の履修登録単位数は18単位以下、各集中授業（SS, WS）は4単位以下とする。

VIII 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	カテゴリ	授業科目	年次及び単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	大学での学びの基礎を固める	アカデミック・スキルズ	①				6 単位	<p>全学部共通基盤科目群では、必修科目3単位と選択科目3単位以上の合計6単位以上を修得する。</p> <p>1年で履修できなかった選択科目は上位学年で履修することができる。</p> <p>抽選科目は、抽選登録で当選した場合のみ履修できる。</p>
		現象世界をつかむ						
		自然科学概論	2					
		生命現象の理解とその応用－生命科学	2					
		生物からみた環境の仕組み－生態学	2					
		食環境論	2					
		香りと環境	2					
		身体の理解	2					
		デジタル社会を切り拓く						
		データ分析の基礎(解析)	2					
		データ分析の基礎(線形代数)	2					
		情報セキュリティ A	2					
		情報社会と情報倫理	2					
		人工知能論	2					
		データサイエンス I	②					
		データサイエンス II	2					
		モデル化とシミュレーション	2					
		プログラミングA	2					
		アルゴリズムA	2					
		情報システム論	2					
		統計学		2				
		デジタルアプリ A	2					
		デジタルアプリ B	2					
		インターネット配信	2					

系列	カテゴリ	授業科目	年次及び単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	現代社会の課題に挑戦する	観光の現在と未来	2					
		ヘルスツーリズム	2					
		社会心理学	2					
		生活と文化		2				
		生涯スポーツ概論	2					
		スポーツ社会学	2					
		ボランティア論	2					
		コミュニケーションの基礎	2					
		域学共創プロジェクト A	2					
		域学共創プロジェクト B	2					
		域学共創プロジェクト C	2					
		域学共創プロジェクト D	2					
		域学共創プロジェクト E	2					
		域学共創プロジェクト F	2					
		域学共創プロジェクト G	2					
		域学共創プロジェクト H	2					
		域学共創プロジェクト I	2					
		域学共創プロジェクト J	2					
	歴史をひもとく	史学概論	2					
		日本史を学ぶ	2					
		アジア史概論	2					
		現代史入門	2					
		房総の文化と歴史	2					
		映像メディア史	2					
		音楽史	2					
	社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2					
		経済学入門	2					
		社会と経営	2					
		社会と会計	2					
		マーケティング論	2					
		広告戦略論	2					
		社会学	2					
		社会調査		2				
		法律学概論	2					
		日本国憲法	2					
		著作権	2					
		社会福祉学 A	2					
		社会福祉学 B		2				
		経営情報基礎論 A	2					

系列	カテゴリ	授業科目	年次及び単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	世界を創造する	世界遺産のいま	2					
		美学・芸術学	2					
		表象文化研究	2					
		世界の文学	2					
		演劇研究	2					
		古典芸能研究	2					
		文学を読む	2					
	知の知を追究する	教育学	2					
		心理学	2					
		基礎の数学	2					
		ジェンダー論	2					
		根拠への問いー哲学へのとびら	2					
		宗教学概論	2					
		倫理学概論	2					
	心と身体を をはかる の充実	スポーツ科学 A	1					
		スポーツ科学 B	1					
		しゃべりのスキル Up I	2					

2. 外国語科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
外国語科目群	Fundamentals of English I	2	*いずれか1科目			6単位	<p>外国語科目群では、選択必修科目から6単位を修得する。選択科目は履修上限を超えない範囲で履修することができる。</p> <p>*選択必修科目として、指定された英語科目から合計2科目4単位以上を修得する。ただし、English for Specific Purposes A・同Bの履修には以下の条件がある。 条件：TOEIC500点程度(CEFR B1相当)</p> <p>**選択必修科目として指定された第二外国語科目から2単位以上を修得する。「中国語I」「韓国語I」「フランス語I」を選択する場合には2年で、「ハンガリー語I」を選択する場合には4年で履修する。</p> <p>I及びIIに区分されている各科目においてIIの科目を履修するためには、あらかじめ同一科目のIを修得しなければならない。</p>
	English for Specific Purposes A	2					
	Oral Fluency I	2	*いずれか1科目				
	English for Specific Purposes B	2					
	TOEIC Preparation A	1					
	TOEIC Preparation B	1					
	Fundamentals of English II		2				
	Oral Fluency II		2				
	English for Advanced Studies A	2					
	English for Advanced Studies B	2					
	中国語I		2	**4科目のうちいずれか1科目			
	韓国語 I		2				
	フランス語 I		2				
	ハンガリー語 I		(4年)		2		
	中国語II		2				
	韓国語II		2				
フランス語II		2					
ハンガリー語II				2			

3. キャリア形成科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
キャリア形成科目群	プロジェクト教育A	①				2単位	<p>キャリア形成科目群では、必修科目1単位と選択必修科目1単位の合計2単位以上を修得する。</p> <p>***選択必修科目として「プロジェクト教育B」又は「グローバルヘルスB」を選択する。</p>
	グローバルヘルスA	1					
	プロジェクト教育B		1	***いずれか1科目			
	グローバルヘルスB		1				

4. 専門基礎科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群 I	科学基礎	①				36単位	専門基礎科目群では、専門基礎科目群 I の必修科目11単位と専門基礎科目群 II の必修科目21単位と選択科目4単位以上の合計36単位以上を修得する。
	社会福祉原論	②					
	児童福祉論	1					
	高齢者福祉論		1				
	保健医療福祉行政論		2				
	ライフステージ IPE A		①				
	ライフステージ IPE B		①				
	ライフステージ IPE C			1			
	関係法規				①		
	保健医療統計学			②			
	地域母子保健 A			1			
	学校保健			2			
	家族発達支援論			1			
	医療英語				2		
	人間関係論	②					
	看護情報学	①					
	死生学				2		
専門基礎科目群 II	医学概論	1					
	人体の構造機能 A	②					
	人体の構造機能 B	②					
	疾病治療学 A		②				
	疾病治療学 B		②				
	臨床栄養学	②					
	疫学		②				
	病原微生物学	②					
	臨床生化学	①					
	臨床心理学	1					
	臨床免疫学	2					
	周産期医学 A		①				
	周産期医学 B			1			
	ポイントオブケア(POC)理論	2					
	感染症学		①				
	臨床薬理学		②				
	薬学系演習		①				
	臨床薬物動態論		①				
	ゲノム医療				2		
	薬物療法管理論				2		
臨床治験学概論				2			
東洋医学概論				1			

5. 専門科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I (基礎看護学)	看護学概論	①				15 単位	専門科目群 I・IIは、すべて必修科目であり、専門科目群 I の15単位と専門科目群 II の37単位を修得する。
	看護方法論 A		②				
	看護方法論 B		①				
	看護方法論演習 A	①					
	看護方法論演習 B	②					
	看護方法論演習 C		②				
	看護方法論演習 D		①				
	看護管理				①		
	基礎看護学実習 A	①					
	基礎看護学実習 B		②				
	サービスラーニング	①					
専門科目群 II (専門看護学)	成人・老年看護学概論	②				37 単位	
	クリティカルケア方法論		②				
	クリティカルケア方法論演習			①			
	クリティカルケア実習			③			
	慢性疾患看護方法論		②				
	慢性疾患看護方法論演習			①			
	慢性疾患看護実習			③			
	老年看護方法論		②				
	老年看護方法論演習			①			
	老年看護学実習			②			
	母子看護学概論		②				
	母性看護方法論		②				
	母性看護方法論演習			①			
	母性看護学実習			②			
	小児看護方法論		②				
	小児看護方法論演習			①			
	小児看護学実習			②			
	精神看護学概論	①					
精神看護方法論		②					
精神看護方法論演習			①				
精神看護学実習			②				

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群Ⅲ (広域看護学)	世界の中の日本	1					
	地域・在宅看護概論	①				22 単位	<p>専門科目群Ⅲ・Ⅳでは、専門科目群Ⅲの必修科目13単位と専門科目群Ⅳの必修科目5単位と専門科目群Ⅳの選択必修科目2科目2単位、専門科目群Ⅲ・Ⅳの選択科目2単位以上の合計22単位以上を修得する。</p> <p>*選択必修科目として「フィールド教育」又は「地域母子保健実習A」から1単位を選択し、修得する。</p> <p>**選択必修科目として「インターンシップ」、「ライフステージ IPE D」又は「地域母子保健実習 B」から1単位を選択し、修得する。</p> <p>選択必修科目は、1)「フィールド教育」と「インターンシップ」、2)「フィールド教育」と「ライフステージIPE D」、3)「地域母子保健実習A」と「地域母子保健実習B」のいずれかの組み合わせとする。</p>
	地域・在宅看護方法論		②				
	地域・在宅看護方法論演習			①			
	公衆衛生看護学概論		②				
	地域・在宅看護実習			②			
	地域包括ケア実習			①			
	国際看護				1		
	フォレンジック看護				1		
	災害看護				①		
	災害看護演習				1		
	感染看護			①			
	終末期看護論			②			
専門科目群Ⅳ (統合看護学)	医療倫理学			②			
	看護研究方法論			①			
	総合看護学演習 A				①		
	総合看護学演習 B				①		
	卒業論文				2		
	フィールド教育				1		
	地域母子保健実習 A				1		
	インターンシップ				1		
	ライフステージ IPE D				1		
	地域母子保健実習 B				1		
未来講座-これからの看護				1			

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考	
		1年	2年	3年	4年			
専門科目群V	(保健師課程)	地域診断と地域活動			2		専門科目群Vは、保健師課程、教職課程、助産師課程を履修している場合のみ選択することができる。	
	公衆衛生看護活動論		2					
	公衆衛生看護活動論演習A			1				
	公衆衛生看護活動論演習B				2			
	健康政策論				1			
	公衆衛生看護学実習				3			
	(教職課程)	健康支援と健康教育		2				
	養護概説			2				
	教職論	2						
	教育原理		2					
	教育心理学			2				
	特別のニーズ教育論			2				
	教育課程論	2						
	教育制度		2					
	道徳教育の理論と方法	2						
	教育方法論	2						
	特別活動と総合的な学習の時間			2				
	生徒指導	2						
	教育相談（カウンセリングを含む）			2				
	養護実習（事前及び事後指導を含む）				5			
	教職実践演習（養護）				2			
	(助産師課程)	助産学概論			1			
	周産期医学C			2				
	助産診断・技術学A				1			
	助産診断・技術学B				3			
	助産診断・技術学C			1				
	助産診断・技術学D				1			
	助産診断・技術学E				1			
	助産診断・技術学F				1			
	ウィメンズヘルス支援論			2				
助産管理				1				
地域母子保健B				1				
助産学実習A				1				
助産学実習B				8				
周産期の家族支援			1					

IX 履修モデル

1. 看護師課程

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
全学部共通基礎科目群 (3単位)	アカデミックスキルズ① データサイエンスⅠ②				3
全学部共通基礎科目群より 選択必修(3単位)	* 全学部共通基礎科目群より3単位選択				3
外国語科目群 (選択必修6単位)	Fundamentals of English I ②★ English for Specific Purposes A ②★ Oral Fluency I ②★ English for Specific Purposes A ②★	中国語Ⅰ②★ 韓国語Ⅰ②★ フランス語Ⅰ②★ * ハンガリー語Ⅰは4年で選択	* いずれか 1科目	ハンガリー語Ⅰ②★	6
キャリア形成科目群 (必修1単位+選択必修1 単位)	プロジェクト教育A① グローバルヘルスA① * グローバルヘルスAは選択しないことも可	プロジェクト教育B①★ グローバルヘルスB①★	* いずれか 1科目		2
専門基礎科目群Ⅰ (11単位)	社会福祉原論② 人間関係論② 看護情報学① 科学基礎①	ライフステージIPE A① ライフステージIPE B①	保健医療統計学②	関係法規①	11
専門基礎科目群Ⅱ (21単位)	人体の構造機能A② 人体の構造機能B② 臨床栄養学② 病原微生物学② 臨床生化学①	疾病治療学A② 疾病治療学B② 疫学② 围産期医学A① 感染症学① 臨床薬理学② 薬学系演習① 臨床薬物動態論①			21
専門基礎科目群Ⅱより 選択必修(4単位)	* 1～4年で4単位以上選択(1-4年推奨) 児童福祉論① 高齢者福祉論① 医学概論① 臨床心理学① 臨床免疫学② ポイントオブケア理論②	保健医療福祉行政論②	ライフステージIPE C① 地域母子保健A① 学校保健② 家族発達支援論① 周産期医学B①	死生学② ゲノム医療② 薬物療法管理論② 臨床治験学概論② 東洋医学概論①	4
専門科目群Ⅰ (15単位)	看護学概論① 看護方法論演習A① 看護方法論演習B② 基礎看護学実習A① サービスマーケティング①	看護方法論A② 看護方法論B① 看護方法論演習C② 看護方法論演習D① 基礎看護学実習B②		看護管理①	15
専門科目群Ⅱ (37単位)	成人・老年看護学概論② 精神看護学概論①	クリティカルケア方法論② 慢性疾患看護方法論② 老年看護方法論② 母子看護学概論② 母性看護方法論② 小児看護方法論② 精神看護方法論②	クリティカルケア方法論演習① クリティカルケア実習③ 慢性疾患看護方法論演習① 慢性疾患看護実習③ 老年看護方法論演習① 老年看護学実習② 母性看護方法論演習① 母性看護学実習② 小児看護方法論演習① 小児看護学実習② 精神看護方法論演習① 精神看護学実習②		37
専門科目群Ⅲ (13単位)	地域・在宅看護概論①	地域・在宅看護方法論② 公衆衛生看護学概論②	地域・在宅看護方法論演習① 地域・在宅看護実習② 地域包括ケア実習① 感染看護① 終末期看護論②	災害看護①	13
専門科目群Ⅳ (必修5単位+選択必修2 単位)			医療倫理学② 看護研究方法論①	総合看護学演習A① 総合看護学演習B① フィールド教育①★ インターシップ①★ ライフステージIPE D①★	7
専門科目群Ⅳより選択 必修(2単位)				災害看護演習① 国際看護① *2単位 フォレンジック看護① 以上選択 未来講座－これからの看護① 卒業論文②	2
卒業要件(124単位)	38	43	32	11	124

○囲み数字は単位数, 下線は必修科目, ★は選択必修科目。

2. 保健師課程

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
全学部共通基盤科目群 (3単位)	アカデミックスキルズ① データサイエンスⅠ②				3
全学部共通基盤科目群より 選択必修(3単位)	* 全学部共通基盤科目群より3単位選択				3
外国語科目群 (選択必修6単位)	Fundamentals of English I ②★ English for Specific Purposes A ②★ Oral Fluency I ②★ English for Specific Purposes A ②★	中国語Ⅰ ②★ 韓国語Ⅰ ②★ } *いずれか フランス語Ⅰ ②★ } 1科目 * ハンガリー語Ⅰは4年で選択		ハンガリー語Ⅰ ②★	6
キャリア形成科目群 (必修1単位+選択必修1 単位)	プロジェクト教育A ① グローバルヘルスA ① * グローバルヘルスAは選択しないことも可	プロジェクト教育B ①★ } *いずれか グローバルヘルスB ①★ } 1科目			2
専門基礎科目群Ⅰ (11単位)	社会福祉原論② 人間関係論② 看護情報学① 科学基礎①	ライフステージIPE A① ライフステージIPE B①	保健医療統計学②	関係法規①	11
専門基礎科目群Ⅱ (21単位)	人体の構造機能A② 人体の構造機能B② 臨床栄養学② 病原微生物学② 臨床生化学①	疾病治療学A② 疾病治療学B② 疫学② 围産期医学A① 感染症学① 臨床薬理学② 薬学系演習① 臨床薬物動感論①			21
専門基礎科目群ⅠⅡより 選択必修(4単位)	(*1年次は以下の科目から選択も可) 児童福祉論① 高齢者福祉論① 医学概論① 臨床心理学① 臨床免疫学② ポイントオブケア理論②	保健医療福祉行政論②★	地域母子保健A①★ 学校保健②★ 家族発達支援論①★		6
専門科目群Ⅰ (15単位)	看護学概論① 看護方法論演習A① 看護方法論演習B② 基礎看護学実習A① サービスマーケティング①	看護方法論A② 看護方法論B① 看護方法論演習C② 看護方法論演習D① 基礎看護学実習B②		看護管理①	15
専門科目群Ⅱ (37単位)	成人・老年看護学概論② 精神看護学概論①	クリティカルケア方法論② 慢性疾患看護方法論② 老年看護方法論② 母子看護学概論② 母性看護方法論② 小児看護方法論② 精神看護方法論②	クリティカルケア方法論演習① クリティカルケア実習③ 慢性疾患看護方法論演習① 慢性疾患看護実習③ 老年看護方法論演習① 老年看護学実習② 母性看護方法論演習① 母性看護学実習② 小児看護方法論演習① 小児看護学実習② 精神看護方法論演習① 精神看護学実習②		37
専門科目群Ⅲ (13単位)	地域・在宅看護概論①	地域・在宅看護方法論② 公衆衛生看護学概論②	地域・在宅看護方法論演習① 地域・在宅看護実習② 地域包括ケア実習① 感染看護① 終末期看護論②	災害看護①	13
専門科目群Ⅳ (必修5単位+選択必修2 単位)			医療倫理学② 看護研究方法論①	総合看護学演習A① 総合看護学演習B① フィールド教育①★ インターンシップ①★ ライフステージIPE D①★ } *いずれか 1科目	7
専門科目群ⅣⅢより選択 必修(2単位)				災害看護演習① 国際看護① フォレンジック看護① 未来講座－これからの看護① 卒業論文② } *2単位 以上選択	2
専門科目群Ⅴ (保健師課程13単位)		健康支援と健康教育②★ 公衆衛生看護活動論②★	地域診断と地域活動②★ 公衆衛生看護活動論演習A①★	公衆衛生看護活動論演習B②★ 健康政策論①★ 公衆衛生看護学実習③★	13
卒業要件(124単位)	36	49	39	15	139

○囲み数字は単位数、下線は必修科目、★は選択必修科目、☆は保健師課程選択科目。

3. 保健師課程(保健師+養護教諭2種)

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数	
全学部共通基礎科目群 (3単位)	アカデミックスキルズ① データサイエンスI②				3	
全学部共通基礎科目群より 選択必修(3単位)	日本国憲法②△ 生涯スポーツ概論②△ スポーツ科学B①△				5	
外国語科目群 (選択必修6単位)	Fundamentals of English I ②★ English for Specific Purposes A ②★ Oral Fluency I ②★ English for Specific Purposes A ②★	中国語I ②★ 韓国語I ②★ フランス語I ②★ * ハンガリー語I は4年で選択	* いずれか 1科目	ハンガリー語I ②★	6	
キャリア形成科目群 (必修1単位+選択必修1 単位)	プロジェクト教育A① グローバルヘルスA① * グローバルヘルスAは選択しないことも可	プロジェクト教育B①★ グローバルヘルスB①★	* いずれか 1科目		2	
専門基礎科目群 I (11単位)	社会福祉原論② 人間関係論② 看護情報学① 科学基礎①	ライフステージIPE A① ライフステージIPE B①	保健医療統計学②	関係法規①	11	
専門基礎科目群 II (21単位)	人体の構造機能 A② 人体の構造機能 B② 臨床栄養学② 病原微生物学② 臨床生化学①	疾病治療学 A② 疾病治療学 B② 疫学② 周産期医学 A① 感染症学① 臨床薬理学② 薬学系演習① 臨床薬物動態論①			21	
専門基礎科目群 II より 選択必修(4単位)	(*1年次は以下の科目から選択も可) 児童福祉論① 高齢者福祉論① 医学概論① 臨床心理学① 臨床免疫学② ポイントオブケア理論②	保健医療福祉行政論②☆	地域母子保健A①☆ 学校保健②☆ 家族発達支援論①☆		6	
専門科目群 I (15単位)	看護学概論① 看護方法論演習 A① 看護方法論演習 B② 基礎看護学実習 A① サービスマーケティング①	看護方法論 A② 看護方法論 B① 看護方法論演習 C② 看護方法論演習 D① 基礎看護学実習 B②		看護管理①	15	
専門科目群 II (37単位)	成人・老年看護学概論② 精神看護学概論①	クリティカルケア方法論② 慢性疾患看護方法論② 老年看護方法論② 母子看護学概論② 母性看護方法論② 小児看護方法論② 精神看護方法論②	クリティカルケア方法論演習① クリティカルケア実習③ 慢性疾患看護方法論演習① 慢性疾患看護実習③ 老年看護方法論演習① 老年看護学実習② 母性看護方法論演習① 母性看護学実習② 小児看護方法論演習① 小児看護学実習② 精神看護方法論演習① 精神看護学実習②		37	
専門科目群 III (13単位)	地域・在宅看護概論①	地域・在宅看護方法論② 公衆衛生看護学概論②	地域・在宅看護方法論演習① 地域・在宅看護実習② 地域包括ケア実習① 感染看護① 終末期看護論②	災害看護①	13	
専門科目群 IV (必修5単位+選択必修2 単位)			医療倫理学② 看護研究方法論①	総合看護学演習 A① 総合看護学演習 B① フィールド教育①★ インターンシップ①★ ライフステージIPE D①★	* いずれか 1科目	7
専門科目群 III IVより選択 必修(2単位)				災害看護演習① 国際看護① フォレンジック看護① 未来講座—これからの看護① 卒業論文②	* 2単位 以上選択	2
専門科目群 V (保健師課程13単位)		健康支援と健康教育②☆ 公衆衛生看護学活動論②☆	地域診断と地域活動②☆ 公衆衛生看護学活動論演習A①☆	公衆衛生看護学活動論演習B②☆ 健康政策論①☆ 公衆衛生看護学実習③☆		13
卒業要件(124単位)	38	49	39	15	141	

○囲み数字は単位数, 下線は必修科目, ★は選択必修科目, ☆は保健師課程選択科目, △は養護教諭2種選択科目。

4. 助産師課程

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
全学部共通基盤科目群 (3単位)	アカデミックスキルズ① データサイエンス I ②				3
全学部共通基盤科目群より 選択必修(3単位)	* 全学部共通基盤科目群より3単位選択				3
外国語科目群 (選択必修6単位)	Fundamentals of English I ②★ English for Specific Purposes A ②★ Oral Fluency I ②★ English for Specific Purposes A ②★	中国語 I ②★ 韓国語 I ②★ フランス語 I ②★ * ハンガリー語 I は4年で選択	* いずれか 1科目	ハンガリー語 I ②★	6
キャリア形成科目群 (必修1単位+選択必修1 単位)	プロジェクト教育A ① グローバルヘルス A ① * グローバルヘルスAは選択しないことも可	プロジェクト教育B ①★ グローバルヘルスB ①★	* いずれか 1科目		2
専門基礎科目群 I (11単位)	社会福祉原論② 人間関係論② 看護情報学① 科学基礎①	ライフステージ IPE A ① ライフステージ IPE B ①	保健医療統計学②	関係法規①	11
専門基礎科目群 II (21単位)	人体の構造機能 A ② 人体の構造機能 B ② 臨床栄養学② 病原微生物学② 臨床生化学①	疾病治療学 A ② 疾病治療学 B ② 疫学② 围産期医学 A ① 感染症学① 臨床薬理学② 薬学系演習① 臨床薬物動態論①			21
専門基礎科目群 I IIより 選択必修(4単位)	* 1年次に下記の中から2単位選択 児童福祉論① 高齢者福祉論① 医学概論① 臨床心理学① 臨床免疫学② ポイントオブケア理論②		地域母子保健A ①★ 围産期医学B ①★		4
専門科目群 I (15単位)	看護学概論① 看護方法論演習 A ① 看護方法論演習 B ② 基礎看護学実習 A ① サービスマーケティング①	看護方法論 A ② 看護方法論 B ① 看護方法論演習 C ② 看護方法論演習 D ① 基礎看護学実習 B ②		看護管理①	15
専門科目群 II (37単位)	成人・老年看護学概論② 精神看護学概論①	クリティカルケア方法論② 慢性疾患看護方法論② 老年看護方法論② 母子看護学概論② 母性看護方法論② 小児看護方法論② 精神看護方法論②	クリティカルケア方法論演習① クリティカルケア実習③ 慢性疾患看護方法論演習① 慢性疾患看護実習③ 老年看護方法論演習① 老年看護学実習② 母性看護方法論演習① 母性看護学実習② 小児看護方法論演習① 小児看護学実習② 精神看護方法論演習① 精神看護学実習②		37
専門科目群 III (13単位)	地域・在宅看護概論①	地域・在宅看護方法論② 公衆衛生看護学概論②	地域・在宅看護方法論演習① 地域・在宅看護実習② 地域包括ケア実習① 感染看護① 終末期看護論②	災害看護①	13
専門科目群 IV (必修5単位+選択必修2 単位)			医療倫理学② 看護研究方法論①	総合看護学演習 A ① 総合看護学演習 B ① 地域母子保健実習A ①★ 地域母子保健実習B ①★	7
専門科目群 III IVより選択 必修(2単位)				災害看護演習① 国際看護① フレンジック看護① 未来講座－これからの看護① 卒業論文②	2

(次のページに続く)

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
専門科目群V (助産師課程25単位)			助産学概論①☆	助産診断・技術学A①☆	
			周産期医学C②☆	助産診断・技術学B③☆	
			助産診断・技術学C①☆	助産診断・技術学D①☆	
			ウイメンズヘルス支援論②☆	助産診断・技術学E①☆	
			周産期の家族支援①☆	助産診断・技術学F①☆	
				助産管理①☆	
				地域母子保健B①☆	
				助産学実習A①☆	
				助産学実習B③☆	
				7	18
卒業要件(124単位)		38	43	41	27
					149

○囲み数字は単位数，下線は必修科目，★は選択必修科目，☆は助産師課程選択科目，第2希望で保健師を希望する場合には，2年までは保健師課程または保健師課程＋養護教諭2種のモデルのとおり履修する。